

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マナック株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町92番地

(3) 業種

1699 他に分類されない化学工業製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成28(2016)年度を基準年度とし、平成29(2017)年度から令和元年度(2019年度)までの3年間とする。

※省エネ法第15条関係中期計画書の計画期間と同じ

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

—《排出量を削減目標とする場合》—

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))							
		上段:見込量 (b)	下段:削減率 (c)	平成 年度		平成 年度		平成 年度		平成 年度	
エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価											

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 年度生産量(エネルギー負荷補正、千t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))				
		上段:目標 (b)	下段:削減率 (c)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年度	年度
エネルギー起源CO ₂	843.6	818.3	-3.0	833.0	821.4	100.0	100.0	100.0
非エネルギー起源CO ₂	0.7396	0.8070	9.1	0.8000	0.9224	100.0	100.0	100.0
メタン	0.3006	0.3228	7.4	0.2974	0.3669	100.0	100.0	100.0
一酸化二窒素	0.1949	0.1614	-17.2	0.1926	0.2377	100.0	100.0	100.0
その他温室効果ガス		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計	844.9	819.6	-3.0	834.3	822.9	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原単位(油換算kl)	335.4	325.3	-3.0	335.2	385.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する自己評価	生産調整等で生産効率の低下、エネルギー原単位は低下 メタン、一酸化窒素の増加は生産増に伴う排水処理の負荷増で想定内							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料起因CO2発生の削減	・燃料の使用によるCO ₂ 発生原単位を3%以上改善	・蒸気配管の整備 ・トラップの整備、改善 ・保温断熱強化
2	電気使用によるCO ₂ 発生の削減	・電気の使用によるCO ₂ 発生原単位を3%以上改善	・高効率機器への更新 ・省エネ型電気機器への更新 ・インバーター制御への変更 ・圧力空気ロスの防止 ・冷暖房温度の適正管理 ・不要電源OFFの徹底 ・遮熱等による冷熱負荷の軽減
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	(該当なし)	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物発生量の削減	発生計画量の3%削 (各年度)	・溶剤のリサイクル、リユース ・使用水量低減（工程改善） ・両面コピー、電子文書 ・分別、資源化の徹底 ・容器リユースの推進
2	大気排出の抑制	回収率95%以上	・工程密閉化の推進 ・温度管理の徹底 ・冷却能力の向上
3	その他		・工場周辺の清掃活動（月2回） ・工場緑化の推進 ・クールビズ、ウォームビズの推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。